

フィリピンの 子どもたちを救え!

性的被害を受けた子どもはいかに人生に
立ち向かったのか、その声を聞く。

日英同時通訳

フィリピンのNGO「プレダ基金」は、アイルランド出身のシェイ・カレン神父によって設立され、
性産業や家庭で虐待されている少女たち、刑務所に不当収容された男の子たちを保護し、
安心して暮らせる場所を提供しています。

プレダ基金により保護された児童は2000人以上になりますが、保護された後に苦難を乗り越えて
自立し、プレダ基金に戻ってソーシャルワーカーとして「子どもたちを救う側」で活躍する
女性たちがいます。このセミナーでは、その女性の貴重な声をお届けします。

また、第二部としてKFAWが実施したフィリピン・スタディツアーの報告会を行います。

- 日時：2014年3月29日(土) 14時～16時 定員100名
- 会場：北九州市立男女共同参画センター・ムーブ(5階大セミナールーム)
北九州市小倉北区大手町11-4 北九州大手町ビル
- 参加料：無料 ※事前申し込みが必要です(詳しくは裏面をご覧ください)
- 託児：子ども1人につき500円(催事5日前までにお申込みください)

■主催：公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム ■共催：福岡NGOネットワーク



公益財団法人

アジア女性交流・研究フォーラム

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4 北九州大手町ビル3階
TEL (093) 583-3434 FAX (093) 583-5195 [Email] info@kfaw.or.jp [URL] http://www.kfaw.or.jp

企画広報課(大石・平井)

フィリピンの子どもたちを救え!

性的被害を受けた子どもはいかに人生に立ち向かったのか、その声を聞く。

セミナー開催日時：2014年3月29日(土) 14:00~16:00

【スピーカー】

マリリン・カピオ(プレダ基金ソーシャルワーカー)

【プロフィール】

14歳の頃に児童買春させられていたところを保護される。その後、プレダ基金等の支援を受けてドイツ人買春被害者の訴訟で証言をおこなった。訴訟後は、社会復帰のリハビリを受けるとともに学校に通うためプレダ基金の施設に戻り、大学を卒業したのち、同基金でソーシャルワーカーとして働き始めた。現在は、プレダ基金の少女の家(商業的性的搾取被害女児が保護されている施設)のソーシャルワーカー/ファシリテーターとして活動している。結婚し、1児の母。

ロデリン・アロックス

【プロフィール】

人身売買と性的虐待の被害者。貧困が原因で知り合いから売春宿に売られた。現在、プレダ基金でリハビリを受けており、彼女の加害者との裁判はいまでも続いている。現在17歳。

【会場へのアクセス】



【プログラム】

《第1部》(14:00~15:00)

プレダ基金講演会(※日英同時通訳)

「児童性的被害少女はいかに人生に立ち向かったのかープレダ基金の取り組みー」

講師：マリリン・カピオさん(プレダ基金ソーシャルワーカー)

ロデリン・アロックスさん

《第2部》(15:00~15:45)

KFAWフィリピン・スタディツアー報告会

《質疑応答》(15:45~16:00)

《交流会》(16:15~17:30)

プレダ基金のお2人を囲んだ交流会を実施します。

※会場は5階小セミナールーム(軽食付)



申込方法

■電話、ファックス、Eメールにて先着順受付(※定員になり次第締め切らせていただきます。)

参加ご希望の方は、①氏名、②電話番号を明示して、電話、ファックス、Eメールにて下記までお申し込みください。※FAXの方は、このチラシに記入してFAXしてください。

お申し込み・お問い合わせ先

電話 093-583-3434 ファックス 093-583-5195 Eメール info@kfaw.or.jp

ファックス送信用	氏名	電話番号	氏名	電話番号
	氏名	電話番号	氏名	電話番号
	氏名	電話番号	氏名	電話番号



公益財団法人

アジア女性交流・研究フォーラム

企画広報課(大石、平井)

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4 北九州大手町ビル3階 (URL)http://www.kfaw.or.jp